

衛研第2-40号
平成30年 1月 9日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. インフルエンザ流行情報
3. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
4. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
5. 全国及び関東情報
6. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成29年第52週（平成29年12月25日～平成29年12月31日）

今週は、年末年始休暇の影響により定点把握対象疾患の動向は参考値となります。
なお、報告定点医療機関は、インフルエンザ定点が249カ所(指定定点数257)、小児科定点が156カ所(指定定点数163)、眼科定点が38カ所(指定定点数41)でした。

今週の注目される疾患

図は 次ページを参照

全数把握対象疾患では、一類及び二類(結核を除く)感染症の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症1人の届出があった。四類感染症の届出はなかった。五類感染症は、アメーバ赤痢1人、急性脳炎1人、侵襲性肺炎球菌感染症2人、梅毒11人の届出があった。

定点把握対象疾患では、インフルエンザ(19.50 23.49：図1-4)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、坂戸(32.50)、幸手(30.50)、東松山(30.25)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では10歳以上の報告患者数の割合が増加している。基幹定点報告対象疾患であるインフルエンザ(入院)は9人の報告があったが、前週(15人)より減少した。年齢階級別では70歳以上が最も多く5人であった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(3.56 2.78)の定点当たり報告数は前週より減少したが、春日部(9.17)、川口(6.12)保健所管内では多い状況が続いている。眼科定点報告対象疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎21人の報告があった。その他の基幹定点報告対象疾患では、無菌性髄膜炎1人、マイコプラズマ肺炎2人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症 報告なし

二類感染症 報告なし(結核を除く)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1人(病型 患者、血清型 O157)

四類感染症 報告なし

五類感染症 アメーバ赤痢 1人(病型 腸管アメーバ症)

急性脳炎 1人(病原体 不明)

侵襲性肺炎球菌感染症 2人

梅毒 11人(病型 早期顕症 期5人、早期顕症 期2人、
無症状病原体保有者4人)

<感染症法に基づく医師の届出について>

平成30年1月1日より百日咳が定点把握対象疾患から全数把握対象疾患に変更となりました。また、風しんの届出が診断後「7日以内」から「直ちに」になりました。

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

インフルエンザ流行情報 (第52週) 小児科定点・内科定点からの報告

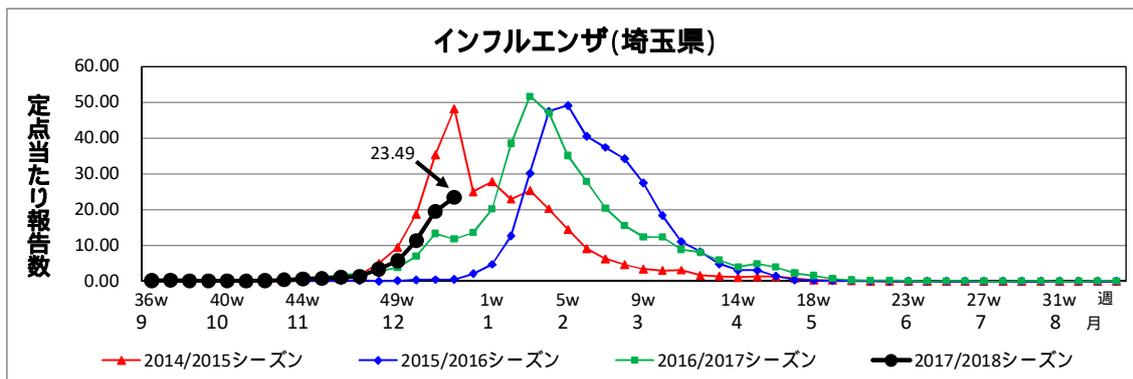


図1 定当り報告数の推移

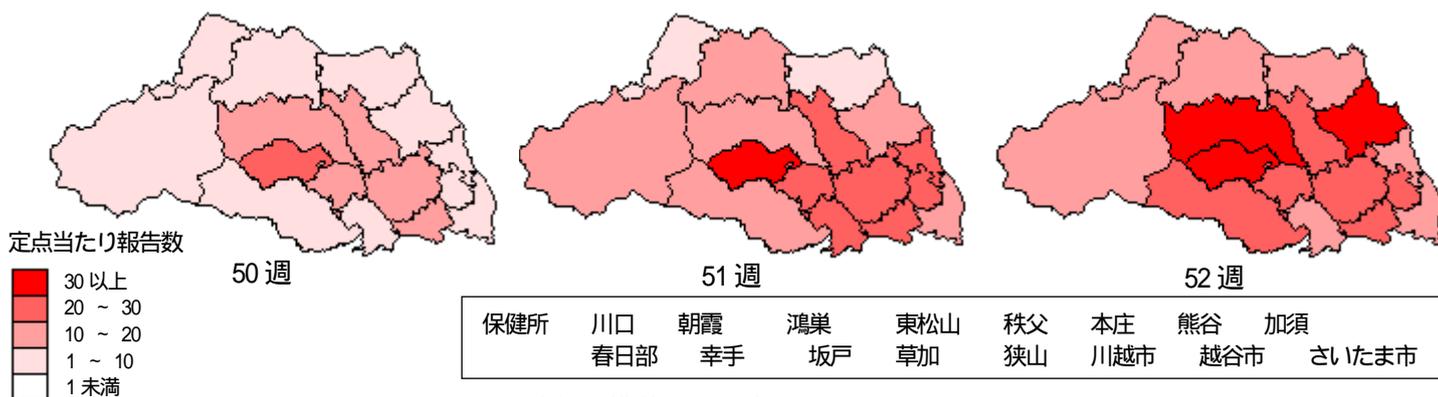


図2 流行の推移 (2017年50週~52週)

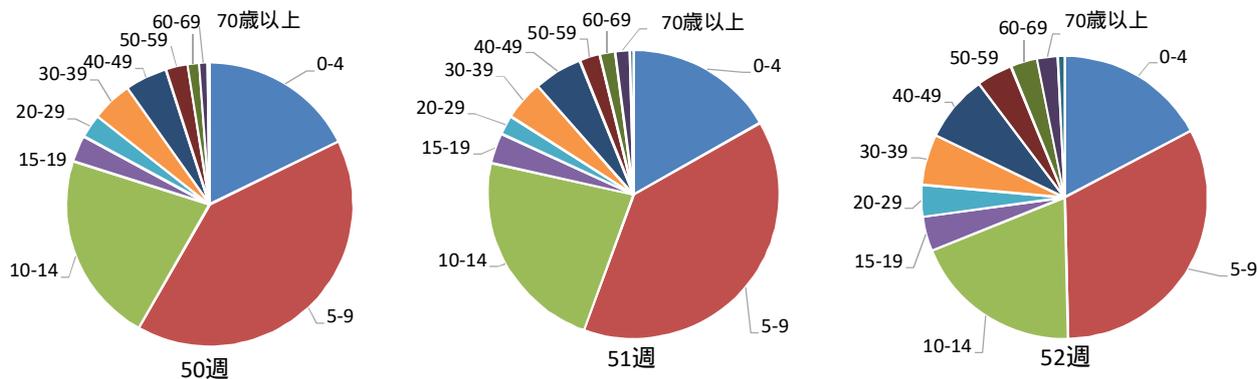


図3 各週における報告患者の年齢 (割合)

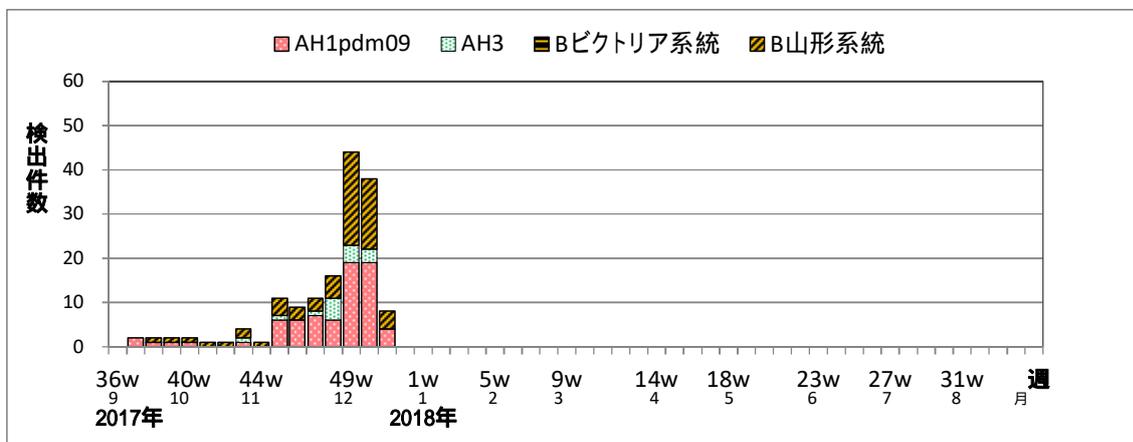


図4 AH1pdm09、AH3、B (ビクトリア系統、山形系統) の週別検出数

詳細なウイルスの検出状況は <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第52週)

(2018年1月5日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		3
細菌性赤痢		7	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	1	246			
四類感染症					
E型肝炎		19	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		12	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病		1	ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		1
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		1
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症		98
つつが虫病		2	レプトスピラ症		2
デング熱		12	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	53	侵襲性肺炎球菌感染症	2	130
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		11	水痘*		12
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		57	先天性風しん症候群		
急性脳炎	1	45	梅毒	11	232
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		21	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		34	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		12
ジアルジア症			風しん		6
侵襲性インフルエンザ菌感染症		20	麻しん		5
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		8
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	7	4		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査週情報 報告患者数 年齢別 (第52週 平成29年12月25日～平成29年12月31日)

	年齢別																				
	合計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80～	
インフルエンザ #1	5,848	13	50	195	204	241	310	335	370	474	366	366	1,134	232	215	341	446	240	178	94	44
合計	-6か月	12か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80～	
RSウイルス感染症	81	27	11	13	10	3	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	98	2	3	21	14	14	19	13	4	4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	434	1	4	18	25	41	68	51	43	42	34	32	43	7	25	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,484	11	106	246	196	132	121	96	80	74	53	44	115	27	183	-	-	-	-	-	-
水痘	92	2	2	5	2	10	13	10	14	10	14	2	6	1	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	52	-	5	9	15	10	2	6	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	17	-	-	1	2	3	1	3	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	50	1	16	27	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	5	-	1	-	1	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	22	-	-	1	2	3	2	5	4	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-6か月	12か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70～		
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	21	-	-	-	2	2	2	1	-	-	1	-	2	4	3	1	2	2	2	1	-
合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	9	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 50 週

(12月11日～12月17日)

平成30年1月9日

インフルエンザの定点当たり報告数は第42週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は長崎県(18.94)、岡山県(13.63)、宮崎県(13.61)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は267例と前週と比較して増加した。都道府県別では44都道府県から報告があり、年齢別では0歳(11例)、1～9歳(87例)、10代(14例)、20代(6例)、30代(9例)、40代(5例)、50代(6例)、60代(29例)、70代(28例)、80歳以上(72例)であった。

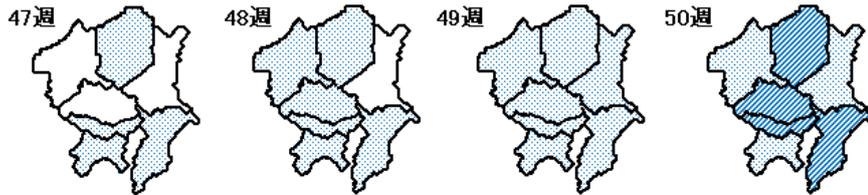
RSウイルス感染症の報告数は2,266例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約68%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は富山県(2.76)、新潟県(2.16)、宮崎県(2.06)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山形県(7.67)、鳥取県(6.32)、北海道(5.45)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第45週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(16.33)、愛媛県(14.59)、埼玉県(13.20)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は群馬県(1.09)、奈良県(1.09)、山形県(1.07)である。手足口病の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は佐賀県(3.91)、青森県(1.98)、長崎県(1.93)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は栃木県(0.40)、神奈川県(0.39)、福島県(0.26)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.55)、宮崎県(1.11)、岩手県(1.05)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(2.25)、山形県(1.40)、青森県(1.33)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。11都県から16例報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～4歳(10例)、5～9歳(3例)、40代(1例)であった。

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、埼玉県(11.44)、東京都(9.03)、栃木県(7.64)、千葉県(7.59)からの報告が多い。

インフルエンザ



		平成29年 50週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	36,664	12,337	471	581	519	2,941	1,625	3,756	2,444
	定点当たり	7.40	8.12	3.93	7.64	5.46	11.44	7.59	9.03	7.15
RSウイルス感染症	報告数	2,266	349	41	33	36	46	53	88	52
	定点当たり	0.72	0.37	0.55	0.69	0.62	0.28	0.40	0.34	0.25
咽頭結膜熱	報告数	2,689	857	39	21	112	197	128	197	163
	定点当たり	0.85	0.90	0.52	0.44	1.93	1.21	0.96	0.75	0.77
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	10,118	3,514	233	71	229	661	491	1,064	765
	定点当たり	3.20	3.69	3.11	1.48	3.95	4.06	3.66	4.06	3.61
感染性胃腸炎	報告数	27,353	10,531	463	260	485	2,151	1,246	3,374	2,552
	定点当たり	8.65	11.06	6.17	5.42	8.36	13.20	9.30	12.88	12.04
水痘	報告数	2,104	770	44	28	63	130	102	205	198
	定点当たり	0.67	0.81	0.59	0.58	1.09	0.80	0.76	0.78	0.93
手足口病	報告数	2,545	754	75	59	48	123	160	153	136
	定点当たり	0.81	0.79	1.00	1.23	0.83	0.75	1.19	0.58	0.64
伝染性紅斑	報告数	276	174	3	19	9	23	7	30	83
	定点当たり	0.09	0.18	0.04	0.40	0.16	0.14	0.05	0.11	0.39
突発性発しん	報告数	1,347	426	21	18	22	83	51	130	101
	定点当たり	0.43	0.45	0.28	0.38	0.38	0.51	0.38	0.50	0.48
百日咳	報告数	32	4	1	-	-	-	-	2	1
	定点当たり	0.01	0.00	0.01	-	-	-	-	0.01	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	295	63	2	1	4	24	6	14	12
	定点当たり	0.09	0.07	0.03	0.02	0.07	0.15	0.04	0.05	0.06
流行性耳下腺炎	報告数	877	167	12	1	43	17	22	31	41
	定点当たり	0.28	0.18	0.16	0.02	0.74	0.10	0.16	0.12	0.19
急性出血性結膜炎	報告数	12	5	-	-	-	2	1	1	1
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	0.05	0.03	0.03	0.02
流行性角結膜炎	報告数	594	250	22	9	31	44	35	27	82
	定点当たり	0.85	1.20	1.29	0.75	2.21	1.07	1.00	0.69	1.64
細菌性髄膜炎 #2	報告数	6	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	14	2	-	-	-	1	1	-	-
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	-	0.10	0.11	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	175	23	4	5	4	2	3	4	1
	定点当たり	0.37	0.28	0.31	0.71	0.50	0.20	0.33	0.16	0.10
クラミジア肺炎 #3	報告数	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	16	3	-	-	-	-	-	1	2
	定点当たり	0.03	0.04	-	-	-	-	-	0.04	0.20

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査 2017年

- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第23週](#)

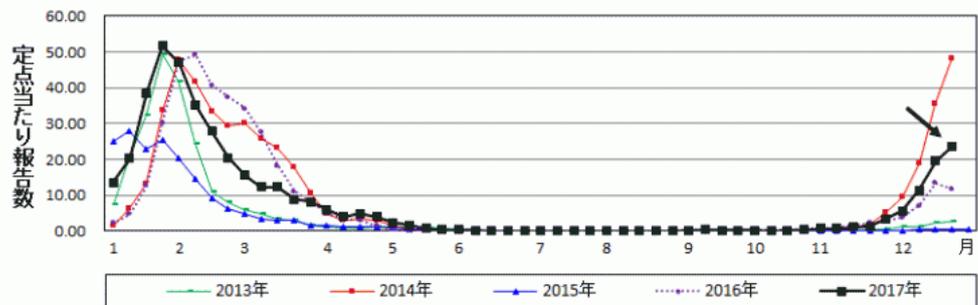
感染症の流行状況 2017年 第52週

2017年第52週（平成29年12月25日～12月31日）の要点 平成30年1月9日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週より増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↓	★★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★★	ヘルパンギーナ	↓	★
感染性胃腸炎	↓	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	↓	★	流行性角結膜炎	↓	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン